

# まとめ

- ① 近年の堆砂実績を踏まえ、見直した流入土砂量に基づき、土砂運搬施設などの規模を縮小したが、社会的要因の変化、現場条件の変化等により、事業費が1,070億円、令和15年度完成見込みとなった。  
今後の事業実施にあたっては、新技術の活用などによりコスト縮減、工事の早期着工などにより工期短縮に努めること。
- ② 土砂運搬施設工事は、工事用車両、ダンプによる土砂運搬と周辺地域に及ぼす影響を把握して、地域の実情などに配慮した施工方法を検討するとともに、地域住民への丁寧な説明を行い、事業を進めること。
- ③ 長安口ダム改造事業を通じて、関係住民が流域治水を我がこととして捉えられるよう、今後とも積極的な広報活動を展開すること。